

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	西宮すなご医療福祉センターさくらんぼ 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ~ 2026年2月3日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2026年2月2日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月2日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一か所の学校からのみの受け入れとなっています。（自主送迎が可能な場合や長期休暇中は他の学校からも受け入れています）	学年での違いはありますが、到着時間がほぼ同じなためみんな揃って療育を始めることができます。	学校からの情報を密に取り入れ、できることやできるようになりたいことを知り、計画に落とし込み充実した放課後を過ごせるように取り組んでいきます。
2	医療福祉センターの機能として、外来やリハビリ、相談支援、訪問看護・ヘルパーステーションなどが充実しており、必要な事業を受けることができます。	療育中に体調の変化があればすぐに医師の診察を受けることができます。また、リハビリや訪問看護との情報共有もでき、一人の利用児に対し、様々な角度からの視点でとらえることができています。	これからも関連事業としっかりと連携、情報共有し、必要なことは計画に落としめるようにしていきます。
3	重症児者入所施設支援に長年携わってきた看護・生活支援・リハビリ職員が療育に入っています。	体調や、ポジショニング等介護にあたり、重症児者の特性を理解して関わることができます。	左記の支援をしっかりと行っていくとともに、OT職員からのアドバイスを受けて職員のスキルアップにつなげていきます。また、職員間の学習会やカンファレンスも実施したいと考えます。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々通所される利用人数が少ないことで、個別活動が多くなり、他者との関わりが少ない。	医療的ケアの必要なお子さんのニーズが増えていることや生活介護事業との兼ね合いもあり、新規の方の受け入れが難しくなってきています。	運営形態の見直しや業務改善の見直しを図り、今以上の児童を受け入れができるよう努めます。また、児童だけではなく生活介護つばさの利用者様と一緒に活動に参加して楽しむことができるよう、イベント等の企画を行うようにします。
2	重症児者入所施設支援に長年携わってきた生活支援職員が療育に入っています。	入所部門での経験が長く、成人した利用者の援助には長けていますが、発達段階の支援のための療育や援助のスキルが低い部分があります。	発達支援についての外部研修や学習会を行い、スキルアップにつなげていきます。
3	人員基準を満たしているものの、相対的に職員が少ない。	重症心身障害を持つ利用児は自力で動けなかったり、意思表示が難しかったりします。また、医療ケアが高く、少人数であつてもほぼマンツーマンで職員がつかないと活動ができない状況にあります。	生活介護との職員の協力体制により療育支援に支障がないよう取り組んでいきます。